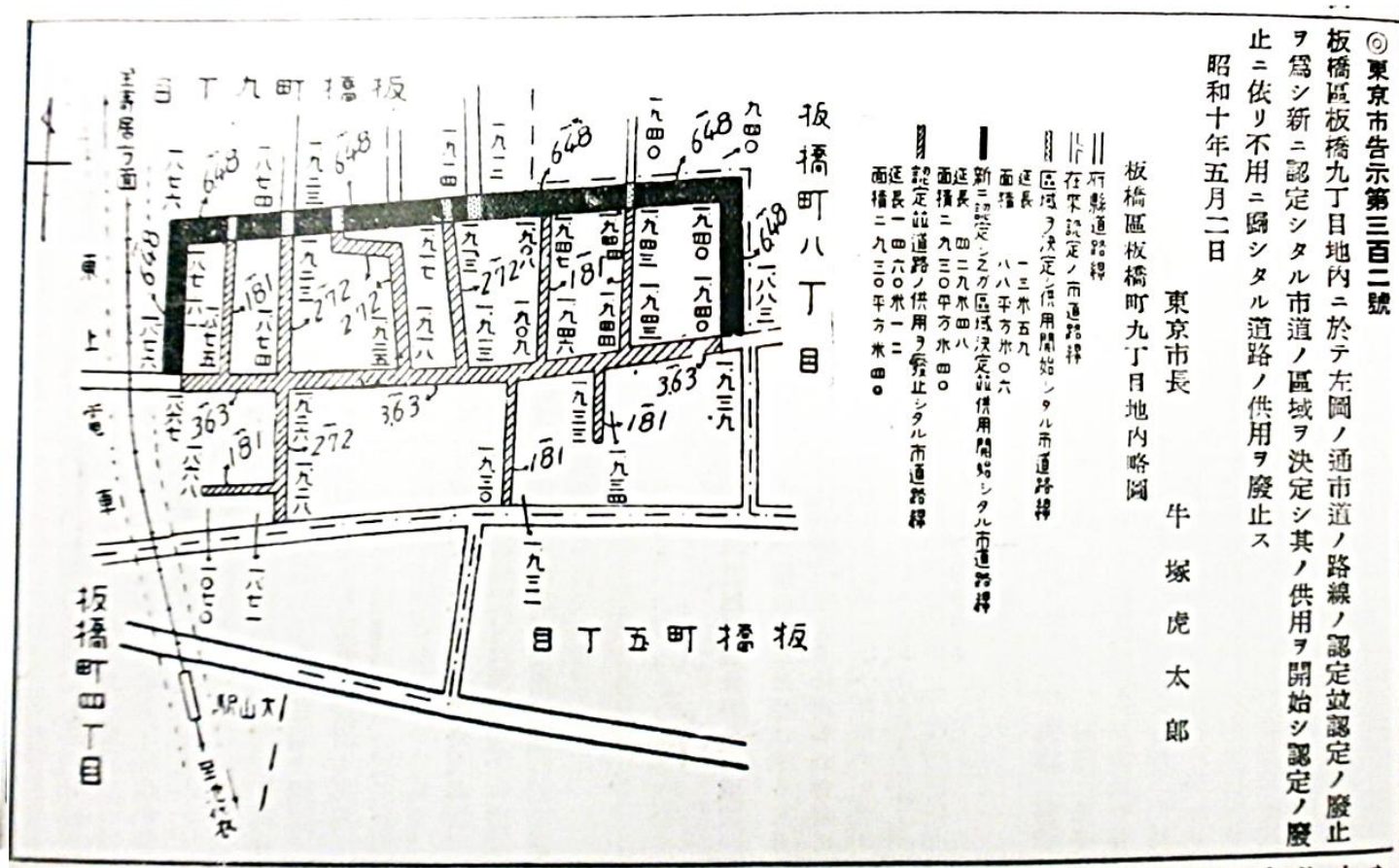
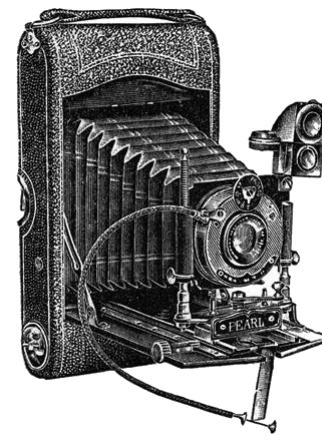


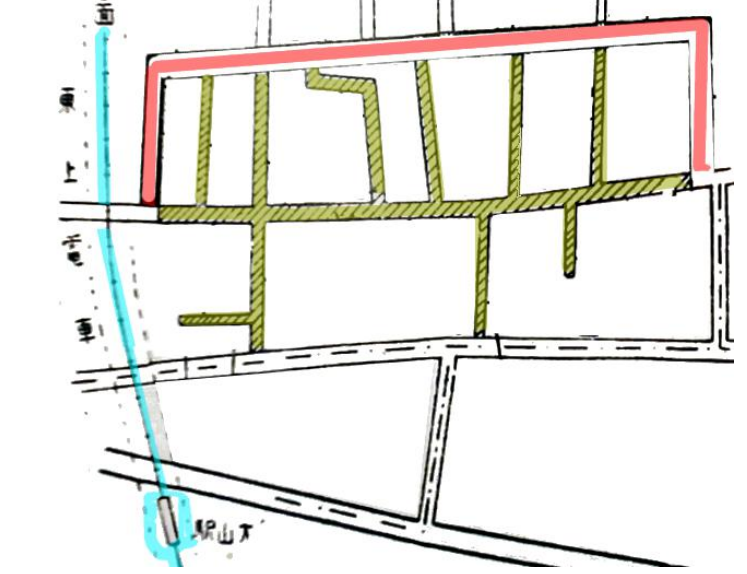
# 写真が語る 大正初めの 養育院

玉越慶弘 養育院渋沢記念コーナー維持ボランティア  
 編集：宮本孝一 老年学情報センター



◎東京市告示第三百二號  
 板橋區板橋九丁目地内ニ於テ左圖ノ通市道ノ路線ノ認定並認定ノ廢止  
 ノ爲シ新ニ認定シタル市道ノ區域ヲ決定シ其ノ供用ヲ開始シ認定ノ廢  
 止ニ依リ不用ニ歸シタル道路ノ供用ヲ廢止ス  
 昭和十年五月二日  
 東京市長 牛塚 虎 太郎

板橋區板橋町九丁目地内略圖  
 一 所轄道路線  
 二 在案認定ノ市道路線  
 三 區域ヲ決定シ供用開始シタル市道路線  
 四 認定ノ廢止ニ依リ不用ニ歸シタル市道路線  
 五 新ニ認定シタル區域決定並供用開始シタル市道路線  
 六 認定並道路ノ供用ヲ廢止シタル市道路線  
 七 延長一四八〇米一〇  
 八 延長一四八〇米一〇  
 九 延長一四八〇米一〇  
 一〇 延長一四八〇米一〇  
 一一 延長一四八〇米一〇  
 一二 延長一四八〇米一〇  
 一三 延長一四八〇米一〇  
 一四 延長一四八〇米一〇  
 一五 延長一四八〇米一〇  
 一六 延長一四八〇米一〇  
 一七 延長一四八〇米一〇  
 一八 延長一四八〇米一〇  
 一九 延長一四八〇米一〇  
 二〇 延長一四八〇米一〇



**古道の付け替えと、新道の市道認定**  
 養育院板橋本院本院の建設（大正10～）により、小松屋横町道とその側道（緑）は、養育院を迂回するように付け替えられた（赤）

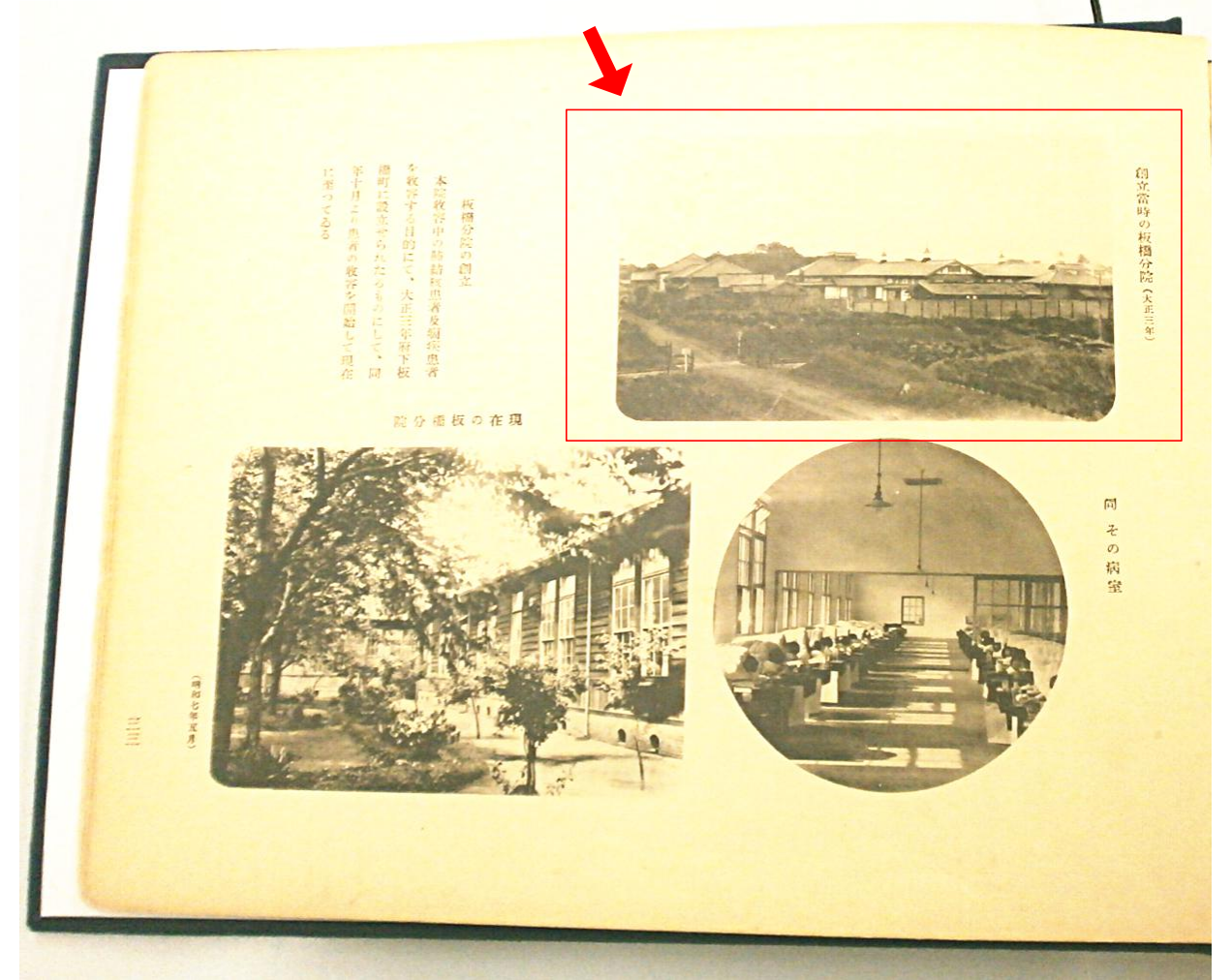
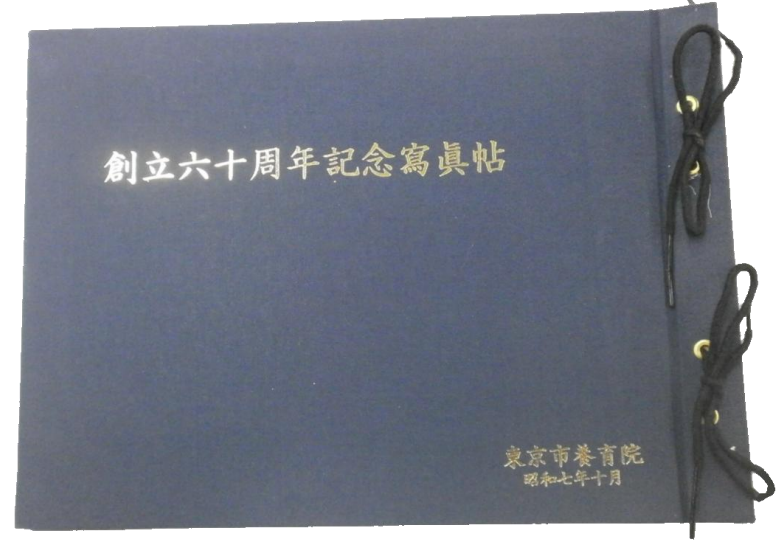
1935（昭和10）年の東京市告示第302号（都庁議会図書館所蔵）に、旧道の廃止と新道の市道化が記録されている。

東京法務局の道路移転登記では、新道の登記がなぜか1962（昭和37）年になっている。養育院の敷地も新道も東京都の管轄だからだろうか？



現況

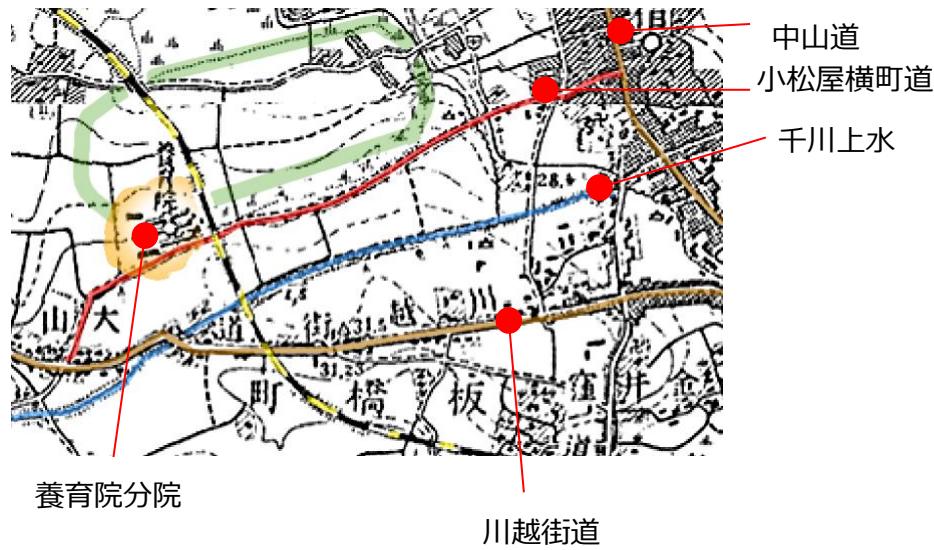
**板橋分院の写真（裏面の図①）**  
 養育院刊行の「創立六十周年記念寫真帖」に、開設当時の養育院板橋分院の写真が載っている。  
 板橋分院は、本院の移転より早く、結核患者や痲疾患者を隔離収容する施設として1914（大正3）年に設置された。  
 木造平屋瓦葺の本館1棟、診療室1棟、収容病者3棟、および付属建物11棟で構成され、総建坪は698坪余りであった。



### 東京ジョッキー倶楽部「板橋競馬場」

板橋競馬場は1907（明治40）年8月に認可を得たが、明治40年に1回、明治41年に2回開催されただけで廃止された。計11日間だった。

1911（明治44）年加工の地図「東京府北豊島郡板橋町」（逓信協会）には、競馬場のトラックが描かれている。

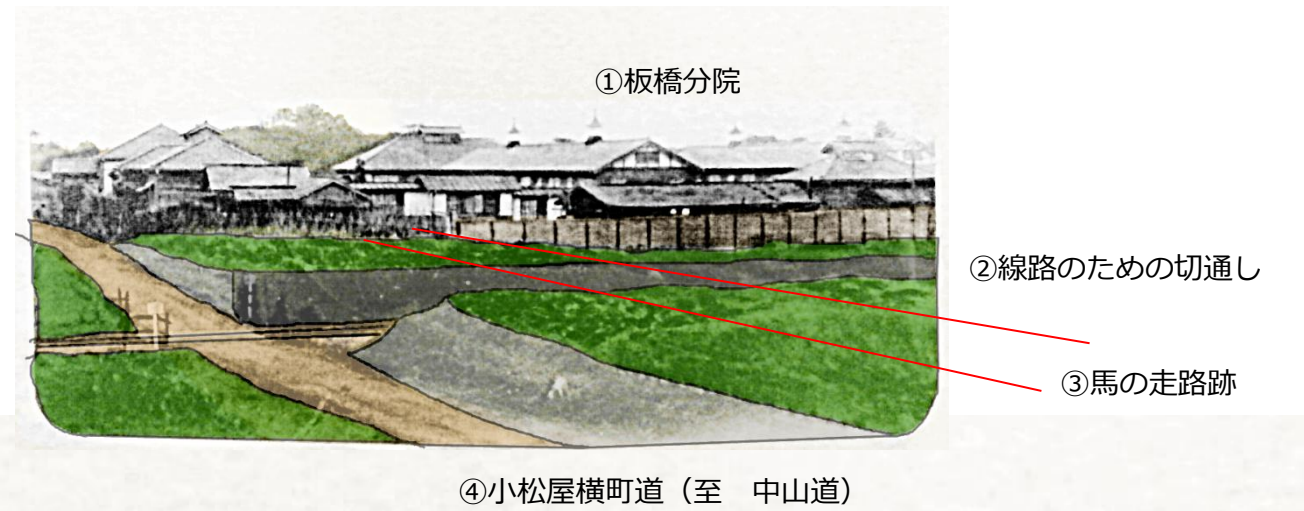
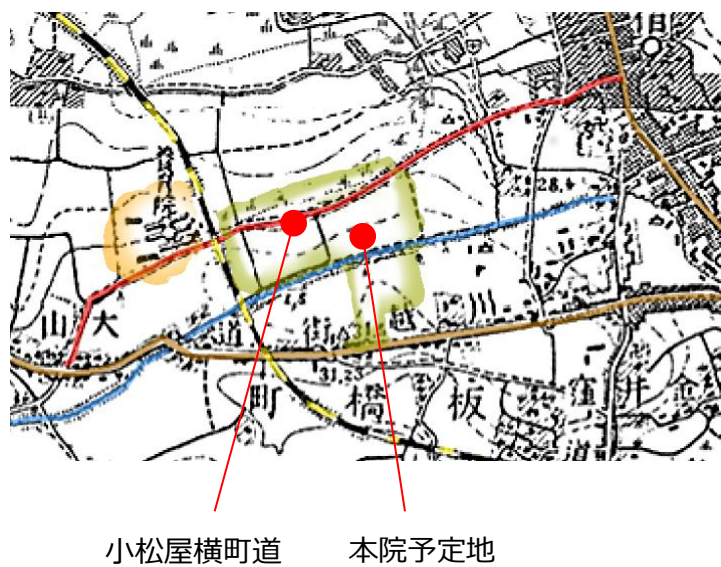


### 古道「小松屋横町道」の付け替え

大塚にあった養育院本院は1923（大正12）年の関東大震災で大破した。そのため本院も板橋分院の近くに移転した。

本院予定地には中山道と川越街道を結ぶ小松屋横町道③という古道があった。中山道からの分岐に「小松屋」という江戸時代から続く酒屋があった。

小松屋横町道は、本院敷地の外側に付け替えられた。



開設当時の川崎市駅

### 東上鉄道の開設

分院開院と同じ年に、東上鉄道（現 東武東上線）が開通した。上の写真には、線路を通すための切通し④が写っている。

駅は11駅（池袋 下板橋 上板橋 成増 朝霞 志木 鶴瀬 上福岡 新河岸 川崎市 田面沢）。大山駅はまだ無かった。

蒸気機関車は貨車と客車を牽引して1日8往復。約2時間に1本発着した。

昭和4年に早くも電化し、昭和6年には大山駅も開設。昭和10年以降に段階的に複線化が進んだ。